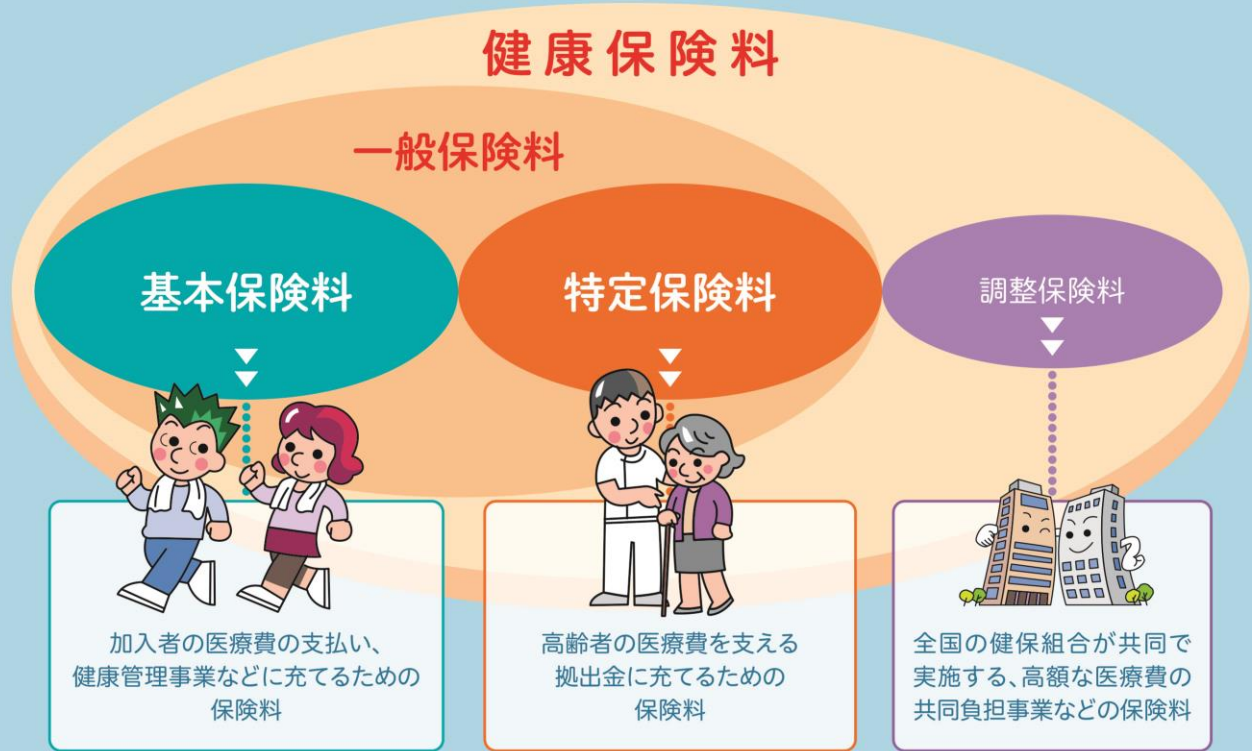




ご存じですか？

健康保険料の使われ方

皆さんの給与から引かれる健康保険料は、主に皆さんやご家族の医療費の支払い、健康づくり・疾病予防を行う健康管理事業のほか、高齢者の医療費を支える「**拠出金**」（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等）として使われています。

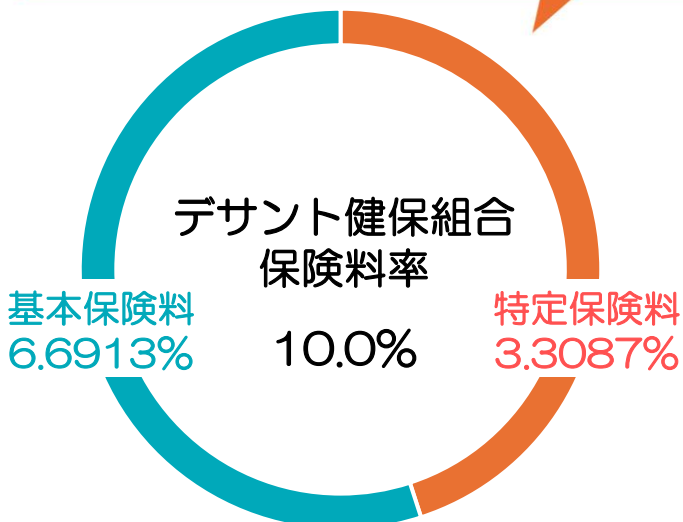


健康保険料のうち「**特定保険料**」が高齢者医療を支えるための拠出金に充てられます。拠出金の額は年々増加し、今では健保組合全体の保険料収入の4割を超えるなど、皆さんの保険料が増加する大きな要因となっています。

例 一般保険料率9.8700%、うち特定保険料率3.3087%の場合の被保険者の保険料額

標準報酬月額	健康保険料額	うち高齢者医療のための負担分 (特定保険料額)
20万円	8,883円	2,977円
30万円	13,324円	4,466円
41万円	18,210円	6,104円
50万円	22,207円	7,444円

※平均保険料率（調整保険料率を含む）、特定保険料率は2025年度 健保組合 予算値を使用
※事業主と被保険者の負担割合は、事業主55%：被保険者45%



保険料の計算方法

$$\text{標準報酬月額} \times \text{保険料率} = \text{毎月納める保険料}$$

給与明細を見て、月々の健康保険料がいくらか確認してみましょう！

※便宜上、基本保険料に調整保険料を含めた形で表示